

新たな公共交通システムについて

(裾野市 都市計画課)

1 概要

公共交通に関する取組みについては、令和4年度から令和9年度の期間において「裾野市地域公共交通計画」に基づき事業を行っている。具体的な取り組みとしては、市内循環線の再編を実施するなどの事業を行い利用者の利便性の向上を図ってきた。

公共交通に関しては、市民意識調査の結果からも分かるとおり市民満足度も低く、公共交通網の維持確保、新たな公共交通システムの導入、市民・公共交通事業者との調整などの課題も多い。そこで今後の公共交通の課題に取り組むにあたり、スマートフォン GPS データなど市内全域のビッグデータを活用した分析調査を実施していく。また、分析調査結果に基づき新たな公共交通システムの実証についても検討していく。

分析調査及び新たな公共交通システムの実証の費用については、国土交通省で新設された「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(「交通空白」解消緊急対策事業)の補助を活用していく。

2 事業時期

事業実施期間 交付決定日(令和7年6月以降)～令和8年2月27日
年度内で調査から実証運行まで実施する。

3 事業内容

交通空白解消に向けた新たな公共交通システムについて

【導入にあたっての検討】

- ・ビッグデータを活用した住民の移動傾向把握
- ・交通事業者および住民と議論しての最適な運行時間・ルート・事業方式の検討

【導入する交通サービスの概要(現時点の想定)】

- ・交通空白地域を対象としたデマンド交通、公共ライドシェア等を候補に実証運行を行う。
実施方式については、調査を行い住民との意見交換をもとに検討する。

- ・調査および実証運行実施期間 令和7年7月～令和8年3月

4 事業費について

「交通空白」解消緊急対策事業の補助を活用予定。

(補助率 500 万円まで定額、500 万円を超える部分は2/3)

※市予算で本協議会予算とは別。